

# すみだ型産学官連携事業の歩み

---

墨田区産業観光部  
すみだ中小企業センター  
主事 吉川 栄一

2008.5.19

# 墨田区の概要

東京東部、隅田川の東に位置  
昭和22年(1947)向島区と本所区が  
統合して「墨田区」誕生

区名の由来:江戸以来の桜の名所  
隅田川堤「墨堤」と隅田川の「田」

面積:13.75km<sup>2</sup>(17番目/23区)

人口:232,374人(H19.8月 16番目/23区)

中小企業が集まる「ものづくり」のまち

ものづくり事業所数:約4,000

平均従業員数:8.7人、在住従業員:52%

北部(向島)地域:機械金属関連作業

南部(本所)地域:ファッション関連産業



# 本所と向島

## 本所(南部)



旧本所区役所

振袖火事による武家屋敷の集積  
関東大震災、東京大空襲による被害

→ 計画的なまちづくり

## 向島(北部)



向島の料亭と墨堤

田園地帯、観光地  
空襲の被害から免れる

→ あぜ道がそのまま路地に  
古い住宅

昭和22年、本所区、向島区が合併し、墨田区誕生

# 近代産業発祥の地 すみだ

## 日用消費財産業の 最大の生産地

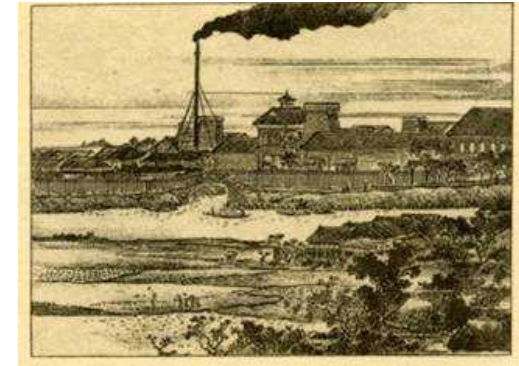
- 瓦、ろうそく、紡績、精密工業、  
石けん、玩具製造、ゴム工業  
など



# 近代産業発祥の地 すみだ

## すみだゆかりの企業

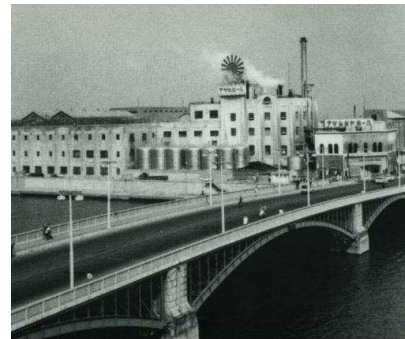
- ・鐘ヶ淵紡績 (M 2 2 年頃) カネボウ
- ・宮田製銃所 (M 2 3 年頃) ミヤタ自転車
- ・小林富次郎商店 (M 2 4 年頃) ライオン
- ・精工舎 (M 2 5 年頃) セイコー
- ・長瀬富次郎商店 (M 2 9 年工場移転) 花王
- ・札幌麦酒東京工場 (M 3 6 年頃) アサヒビール
- ・資生堂石鹸 (S 2 年) 資生堂



鐘ヶ淵紡績



精工舎



アサヒビール



花王



# 中小ものづくり企業のまちすみだ

規模別工場数・従業員数・出荷額(H17 工業統計調査)

	工場数	従業員数	出荷額
総数	3,833 (-362)	22,756 (-1,481)	3577億9315万円 (-365億9613万円)
うち 1～3人	2,321 (-256)	4,618 (-610)	255億4977万円 (-22億4023万円)

60.6%

7.1%

事業所数は23区で大田区(4,778)に次いで2番目

従業者数は大田区(37,641)、板橋区(27,192)に次いで3番目

出荷額は大田区(7610億8655万円)、板橋区(6717億7378万円)、足立区(3769億183万円)江東区(3600億2364万円)に次いで5番目

製造業事業所数、出荷額上位5業種(H17 工業統計調査)

	事業所数		出荷額
金属製品	766	化学工業	1034億929万円
印刷・同関連業	466	印刷・同関連業	477億492万円
衣料・その他	433	金属製品	364億1190万円
皮革・同製品	338	皮革・同製品	256億7001万円
一般機械	324	一般機械	190億5939万円

1社あたりの規模が小さい!

# 観光地としてのすみだ

江戸期以降受け継がれている豊富な観光資源

隅田川花火

墨堤のさくら

相撲

歴史上の偉人

葛飾北斎、吉良上野介、  
長谷川平蔵、遠山金四郎、鼠小僧、  
勝海舟、榎本武揚、芥川龍之介、  
いかりや長介、木の実ナナ、大橋巨泉、さまあず、  
ラッキィ池田、王貞治、高橋尚成 etc

隅田川七福神

多聞寺(毘沙門天)、白鬚神社(寿老人)、  
向島百花園(福祿寿)、長命寺(弁財天)、  
弘福寺(布袋尊)、三囲神社(大黒天、恵比寿)

向島百花園

萩のトンネル、すみだの花火、虫聴きの会、お月見の会

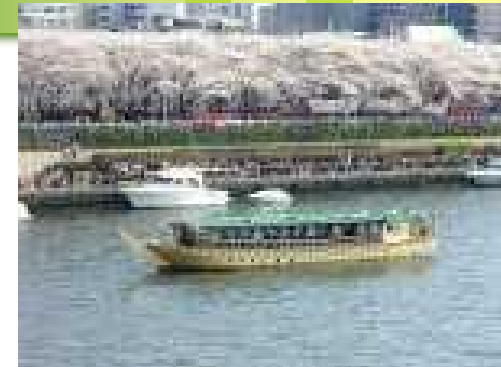
向島花街

向島、浅草、新橋、神楽坂、赤坂、芳町のひとつ。

16件の料亭と置屋があり芸妓は120名。都内では最大規模。



隅田川花火大会



墨堤の桜



吉良祭・義士祭



大相撲

# 産学官連携事業

## 全国初の地域と大学の包括的提携

・平成14年12月24日包括的な事業 連携を目的とした協定を締結(協定期間5年)

### 包括的連携

・産業振興、文化、まちづくり、人材育成など、幅広い分野で大学との連携を実施し、地域全体の活性化を図る

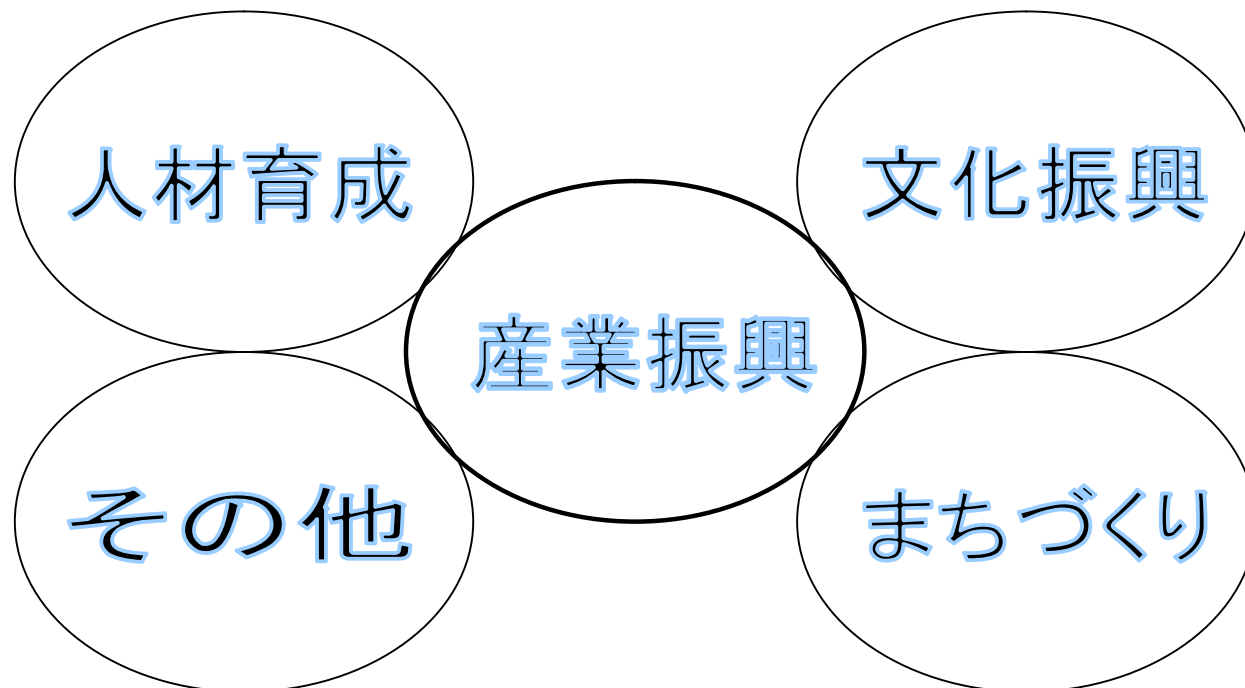
・区は大学の「知」のパワーを活用した地域の活性化を図り、大学は地域を「実学の場」として位置づけ、連携事業を展開





# すみだ型産学官連携事業

理系分野に止まらず、文系分野における事業展開  
教員のみならず、学生を積極的活用

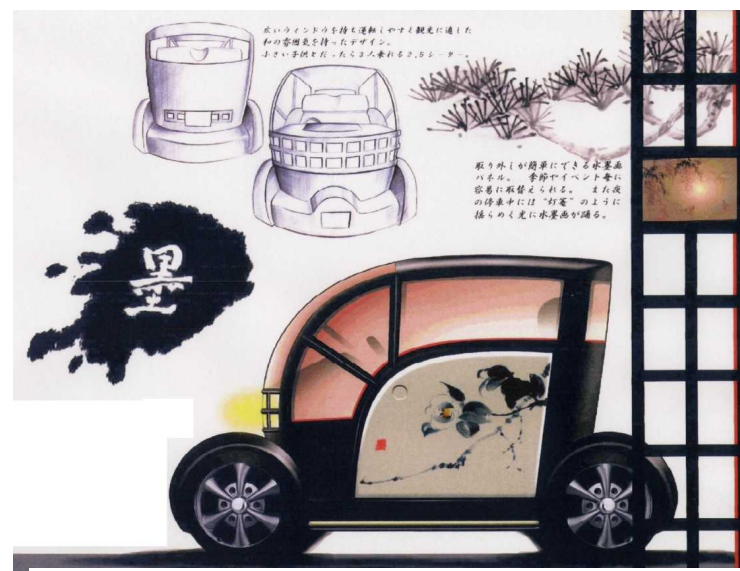


# 産業振興

- ・すみだ産学官連携プラザ
- ・すみだ産学官連携クラブ
- ・すみだ次世代モビリティ開発プロジェクト
- ・企業経営革新支援事業
- ・共同研究等マッチング支援事業
- ・早稲田ビジネス講座



すみだ産学官連携クラブ



すみだ次世代モビリティ開発プロジェクト

# すみだ産学官プラザ

- ・産学官連携事業を推進していくための拠点となる施設（平成15年10月オープン）
- ・旧西吾孺小学校1階部分を改装
- ・早稲田大学関係の研究室やベンチャー企業等が入居する「早稲田大学すみだサテライトラボラトリー」部分と、商談スペース、講習会等を開催する情報展示室などの共用スペースから成る。

## 早稲田大学すみだサテライトラボラトリー入居者

早稲田ビジネスパートナーズ(株)  
佐竹経営研究所  
(株)早稲田環境研究所  
宮崎里司研究室  
(株)テクノコミュニケーションズ



すみだ産学官連携プラザ外観



早稲田大学すみだサテライトラボラトリー居室



情報展示室での講習会



# すみだ産学官連携クラブ

- ・平成15年12月、28社で発足
- ・墨田区における産学官連携事業の推進母体
- ・平成19年度末現在38社が加入
- ・大学との接点を増やすため、関係施設への視察会や各種セミナーに参加
- ・本クラブを母体に「マルチマイクロ発電機開発」、「すみだ次世代モビリティ開発」を推進



H16 会員企業視察



H17 早稲田大学理工学部



H19 JHFCパーク視察



H19 東京海洋大学視察



H18 産業技術総合研究所視察



# マルチマイクロ発電機

- ・すみだ産学関連携クラブを母体に、「マルチマイクロ発電機開発プロジェクト実行委員会」結成
- ・風力、太陽光、太陽熱により発電するエコ発電機
- ・区立公園3箇所(平成18年3月)、区立学校2校(平成18年11月、平成19年3月)に設置

墨田区内の公園に、風力、太陽光、太陽熱を利用する最先端の「マルチマイクロ発電機(MMD)」が設置された。産学官連携事業の一つで、区内企業10社による実行委が開発を進めてきた。

## 風力、太陽光、太陽熱を利用 最先端の発電機

産学官連携事業 墨田区の公園に設置

た。MMDは三つの自然エネルギーを組み合わせた発電機。LED(発光ダイオード)の照明設備を備え、災害時の非常灯にもなる。設備の高さは6・5mで、白色LED450個が、本が読めるぐらいの3m以上で周囲を照らす。

風力はおわん型の風車、太陽光は両面型パネルを使い、一晩照らすのに十分な1時間約30ワを通常発電する。太陽熱発電は発電量は少ないが、ほとんど実用化されていない最先端の技術だという。

開発の過程では早大などが協力し、号機は昨年3月に作られた。さらに、デザインや設計、取り付け方法などの改良を重ねていた。太陽熱を除いたMMDによる照明も区庁舎前の勝海舟像脇に設置された。

参加企業の菊川工業、阿部穂さん(59)は「電気は分野が違うので分からないことも多く苦労した。初めて明かりがついた時はうれしかった」と話す。区産学官連携担当者は「まちの声から生まれたアイデアが、区民・地域・環境にやさしい街の推進に役立ってほしい」としている。

【益子香里】

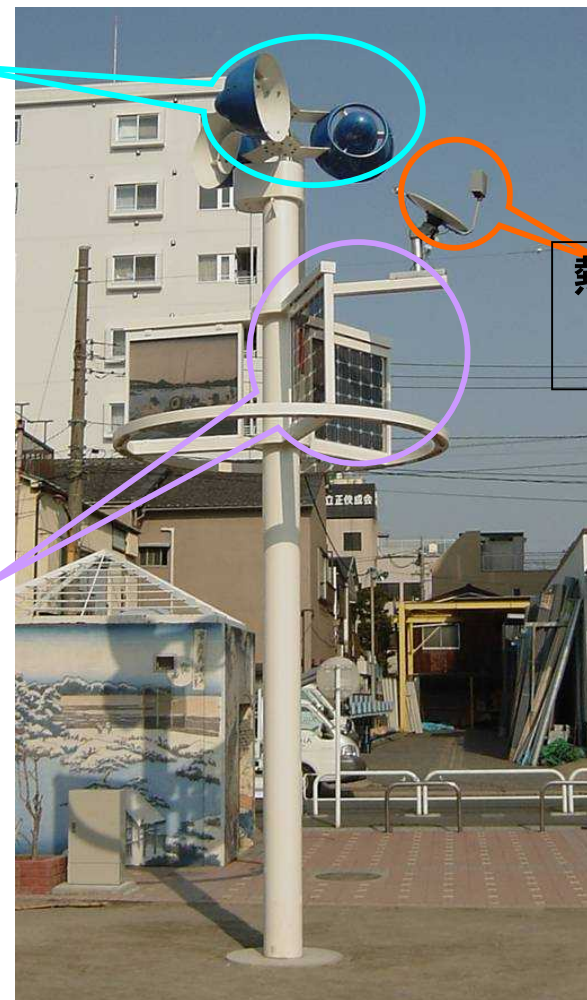


墨田区内の公園に完成したMMD

風力

太陽光

太陽熱

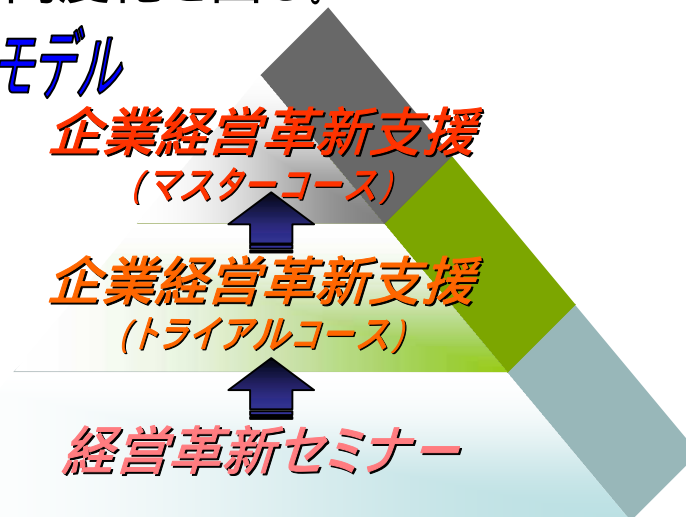




# 企業経営革新支援事業

- ・早稲田発ベンチャー企業との協働事業
- ・徹底的な現場主義に則り、マーケティング戦略等の策定から工程管理・現場カイゼンの実施まで一貫した個別支援を行うことで区内企業の経営基盤の強化・高度化を図る。

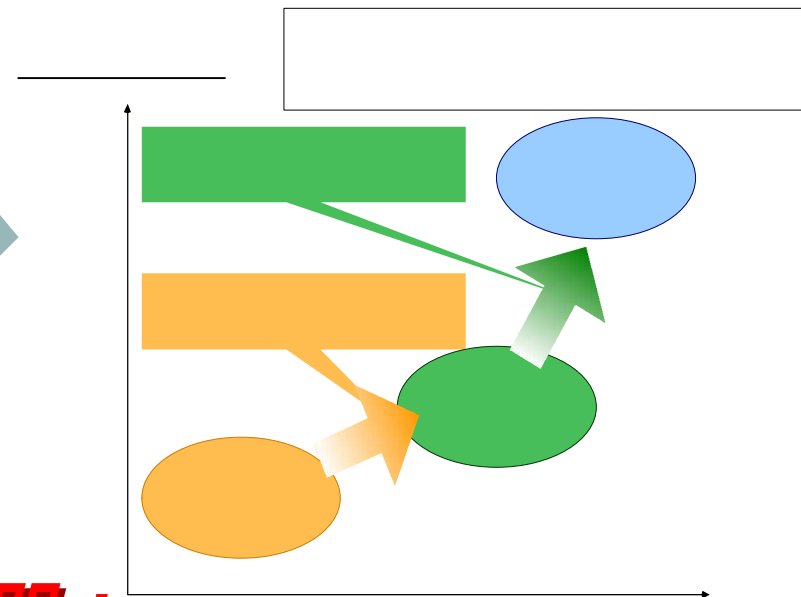
## 平成19年度事業モデル



### 【主な成果】

- ・早稲田大学との共同特許出願
- ・じょうとうIT経営大賞最優秀賞・優秀賞受賞
- ・経営革新計画認定取得 etc

**平成20年度は更なる新機軸を展開！**



# 文化振興

早稲田大学大学院日本語教育研究科 宮崎 里司 教授

- ・「すみだ学」
- ・多文化共生セミナー
- ・記念講演会  
「すみだとワセダと国際化」



すみだとワセダと国際化



すみだ学



多文化共生セミナー

# すみだ学

- ・早稲田大学オープンカレッジの一講座として開設(平成18年度～)
- ・10回シリーズの講座で、すみだの歴史、文化、施策等を幅広く紹介
- ・テーマごとに個性豊かな講師を立てる

## 【テーマ例】

- ・「すみだとすもう～力士を育む両国界限～」 日本相撲協会教習所担当親方 大山進
- ・「江戸・東京・すみだ～お江戸から東京、そしてTOKYOへ～」 江戸東京博物館館長 竹内誠
- ・「すみだと食文化～風土・時代・酒質～」 アサヒビール㈱名誉顧問 薄葉久
- ・「向島と花柳界～粋を育てる墨堤文化～」 料亭きよし女将 小林綾子
- ・「すみだとエコロジー～雨水とのつきあい～」 墨田区環境保全課 村瀬誠
- ・「すみだと忠臣蔵」 墨田区文化財保護指導員 五味和之



「向島と花柳界」



「江戸・東京・すみだ」



「すみだと食文化」



# まちづくり

## ・地域経営ゼミの支援

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科

友成真一教授

## ・早稲田まちづくりセミナー



早稲田まちづくりセミナー



友成真一教授



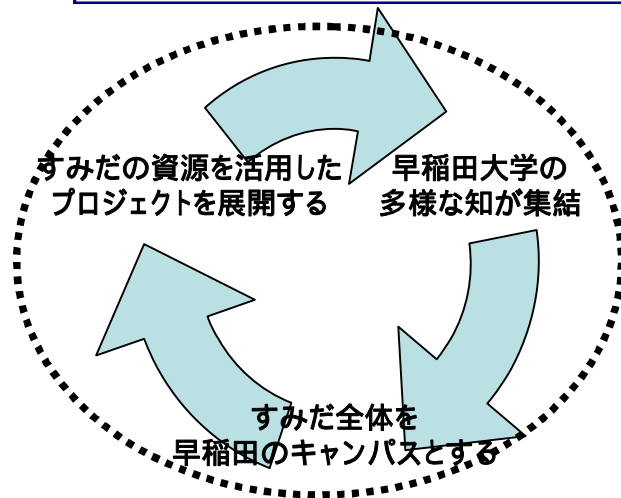
すみだのまちがキャンパス



デザイナーによる授業

# 地域経営ゼミの活動支援

すみだの「まち」「ひと」と「大学生」の化学反応による、「地域全体の活性化」を目指す早稲田大学産業創成研究所 友成真一教授によるプロジェクト。



## 【研究テーマ例】

- 「ドッグタグ製作」(H15)
- 「中学生と大学生のCATV番組制作プロジェクト」(H16)
- 「面白くなければ人生じゃない! ~会社対抗寄席プロジェクト~」(H17)
- 「それ行け! 大和君プロジェクト」(H18)
- 「キラキラ探偵団プロジェクト」(H18~19)
- 「ハッケン! よこかわくんプロジェクト」(H19)



ドッグタグ



キラキラ探偵団



区長とのディスカッション



大プレゼン大会



# 人材育成

- ・ビズ・スタイルすみだ
- ・Do School in 神泉
- ・アントレプレナーシップ
- ・公共経営大学院への職員派遣



Do School in 神泉



ビズ・スタイルすみだチラシ



アントレプレナーシップ



Do School in 神泉

# ビズスタイル事業 -就業・創業塾-

- 将来の墨田区を担う人材の育成と区内での創業・就業につなげることが目的
- 早稲田大学の一流講師陣によるビジネス講座と、墨田区での就業体験（インターン）をミックスした、学生、フリーターのための総合講座で、11月から3月まで毎週1回計16回実施
- 産学官で就業対策に取り組む全国初の取り組み
- 平成17年度は12名の受講生のうち、4名が区内企業に就職、平成19年度は受講生7名のうち、1名が創業、1名が区内企業に就職した。



ビジネスプラン作成



マッチングフェア



閉講式



区内企業へのインターン

主催 墨田区 共催 早稲田大学インキュベーション推進室、独立行政法人雇用能力開発機構  
協賛 ハローワーク墨田 企画運営 セルフウィング



- ・事業連携記念イベント
- ・子ども向け教室
- ・筑紫哲也氏授業協力



**南極の今がわかる!! ライフ**

# Liveで体験! 南極Life

平成19年3月24日(土)

旅・空の旅、南極。20の7日はじめて南極まで飛ぶ初めての8日です。これまでにして飛翔することの多い中で南極「南極」では、「南極ってどんなところ?」「南極でどんなことを体験できるのか?」「さむい!南極ではどうやって生活しているのか」といったことが、実際に南極で活動した方たちからお話を聞けます。

お話を聞いた後、多くの南極の様子をライブカメラで紹介し、導く「南極」であることにも参加者が役立ちます!

また、南極のまやゆかりにある紙飛行機コーナーもあります!

ぜひご来館ください。これからご来館される方には南極の魅力を伝える資料室とて御覧にさせていただきます!



とき：平成19年3月24日(土) 午後1時～3時半  
開場：午後1時


場所：すみだリバーサイドホール 第1会議室(新大塚駅西口1-23-20 東武池袋線222号)

内容：13:30~14:00 映画『南極』 終幕で南極探検の歴史を紹介します。  
14:00~15:00 「トークセッション〜あなたの南極〜」  
知っているようだけど知らない事、すたふらのついで生え肉類探検の一面など、南極についてわかるといけない話をしてみます。  
講演者 高橋 久(国立海洋博物館元学芸員、元南極船乗組員)  
東 久美子(元国立海洋博物館学芸員、元南極船乗組員)  
司会 小宮 浩二(元NHK大河ドラマ制作局長、元新聞社記者兼作家)

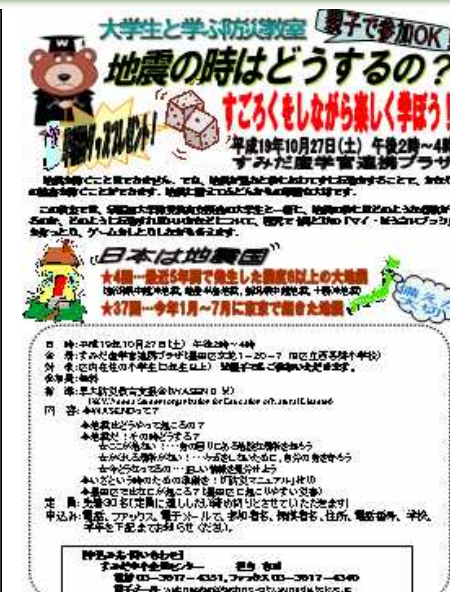
15:00~15:30 南極 ライブ中継  
南極の模様と会場とのやり取り、観客からのリアルタイム質問が出来ます。

対象：小学生・中学生 一般の方どうぞで  
定員：各席30名 入場無料  
申込み：当日 受付開始となります(先着優先)  
主催：国土交通省、国土交通政策委員会  
協力：国土地理院研究所 JCOM すみだ  
交通：都営・東京・メトロ池袋線 池袋駅西口南口側 本所直前駅 徒歩5分

お問い合わせ先  
池田区教育委員会事務局生涯学習課 青少年少年部 TEL 03-5608-6311  
豊田区地域振興局観光工務部すみだ中小企業センター TEL 03-3617-4351



Liveで体験！南極Life



大学生と学ぶ防災教室



ワセダ・ビジネス・キッズ

# 事業連携記念イベントの開催

- ・墨田区で展開する産学官連携事業の活動・成果報告の場として毎年開催
- ・大学のない墨田区に暮らす人たちに、大学を身近に感じてもらう
- ・大人も子どもも楽しめる知的イベント中心  
(記念講演会、パネルディスカッション、展示・体験 etc)



パネルディスカッション



事業成果報告展示



小型二足歩行ロボット操作体験



記念講演会（H16年度 筑紫哲也氏）



早稲田大学応援団 & チアリーダーパフォーマンス



小型燃料電池車試乗会



# 協定の更新

- ・第1期(H14.12.24～H19.12.23)の連携事業の成果を受け、早稲田大学、墨田区双方が協定の更新に同意。
- ・H19.12.24～H24.12.23までを第2期としてステップアップを目指す。

## 第2期の取組方針

これまでの「産業振興」、「文化振興」、「まちづくり」、「人材育成」に「観光」を加えて、広範な地域振興を推進する

第2期のシンボル事業として、「すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム」事業を積極的に推進する

「産」と「学」が主役となる、「自走可能な新たな連携モデル」の構築を目指す



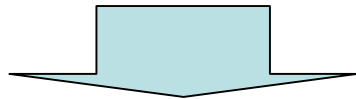
墨田区・早稲田大学包括的事業連携協定更新記者発表

## 一步先を行く産学官連携モデルを目指す！



# 新タワーを契機に

新タワー建設を契機に、  
墨田区内の観光スポットを  
ネットワーク化し、観光地と  
しての魅力をアップ！



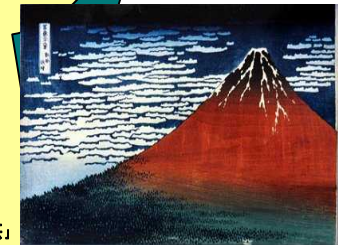
それぞれの観光スポッ  
トのPRとネットワーク化  
が必要

観光という切り口で  
地域を元気にするために  
すみだの産業を活かす

→ すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム



「東武鉄道・新東京タワー提供」



# 組織

## すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム

### すみだ新製品開発プロジェクト 実行委員会

#### 早稲田大学

- ・コーディネート
- ・産学官連携体制の推進

#### 区内企業 20社

- ・エコ・モビリティの開発・試作

#### 墨田区

- ・区内企業との調整
- ・産学官連携体制の推進

#### (株)早稲田環境研究所

- ・事業全体の取りまとめ
- ・エコ・モビリティに関するノウハウ提供
- ・ビジネスモデルに関する検討

本事業を推進するWGとして、  
以下の2つの研究会を設置する

#### モビリティ製品化研究会

- ・エコ・モビリティの開発
- ・事業化検討

#### ビジネスモデル構築研究会

- ・カーシェアリング、観光情報提供サービス等のビジネスモデルの検討

\* 原則として、上記の実行委員会構成メンバーより選定する。

\* ビジネスモデル構築研究会には、区内企業に限定せずにさまざまな企業との連携を想定している。

# プロジェクト概要

## 産学官連携による次世代エコ・モビリティ開発を通じた地域振興プロジェクト

### 【構想】

産学官連携モデルに基づく産業振興と観光振興を通じて、地域全体の活性化を図る。







SUMI  
WASE



ご清聴ありがとうございました